

イー歯トープ 8020

歯と口のハテナ

⑥ 県歯科医師会

一般開業医や大学病院などで
歯科医師が治療する口の病気
(病態)を紹介しましょう。
う蝕症は、一般にむし歯と呼
ばれ、細菌や糖質など種々の要
因が絡んで歯を溶かす病気で
す。

歯周病(歯肉炎、歯周炎)は、
細菌が引き起こす感染症で、以
前は歯槽のう漏と呼ばれ、歯肉
の腫れ(歯肉炎)に始まり、歯
を支えているあごの骨(歯槽骨)
が溶けていき、一度溶けてしま
うと骨は元どおりに戻りませ
ん。

自覚症状少なく注意

ん。

歯の破折は、不慮の事故など
で歯が折れることで、激しい痛
みを伴うことがあります。

咬耗症は、歯がすり減ること
む習慣などで歯がすり減ること
をいい、磨耗症は歯ブラシなど
の過剰な接触により歯がすり減
ることをいいます。

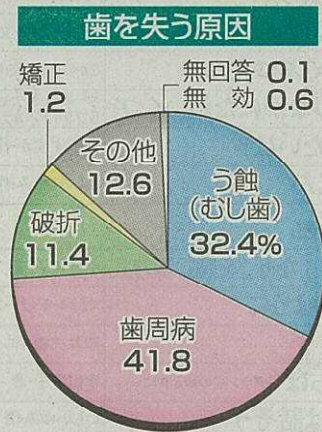
口腔粘膜の疾患は、口内炎や



遠藤 義樹(えんどう・よしき) 196
1年生まれ。岩手医科大学歯学部卒業。県
歯科医師会学術医療管理委員会常任委員。
よしき歯科クリニック(盛岡市)院長。同
市在住。東京都出身。

さまざまな病気

遠藤 義樹



※2005年(財)8020推進
財団調査

舌炎、潰瘍、良性腫瘍などさま
ざまなものがあります。

不正咬合は、歯やあごの位
置、形に異常があつて正しいか
み合わせが得られない状態をい
います。

顎骨(あごの骨)の疾患は、
主に歯からの細菌感染があごの
骨に波及して生じる嚢胞や、顎
骨骨膜炎、顎骨骨髄炎、または

良性腫瘍や事故による顎骨骨折
もあります。

顎関節の疾患は、最近増加し
ています。

口腔がんは、口腔の領域に発
生するがんで、こちらも増加し
てきています。

歯の喪失は、歯を失う原因は
さまざまですが、やはりむし歯
と歯周病が大きな原因になつて
います。

ほかに「口臭」や「歯ぎしり」
「知覚過敏症」などもさまざま
な要因が絡んで引き起こされる
病態です。口の病気は自覚症状
がない場合も多く、定期健診に
より早期発見に努めましょう。
(月曜日に掲載します)